

糸島市は、自然と都市生活の両方を感じられる住みやすい街として、全国的にも人気のある地域で、移住者も多く、市内には九州大学もあり大学生等も多い。また、政令指定都市で人口増加率が1位（2020年国勢調査）の福岡市と隣接しており、JA糸島の産直市場「伊都菜彩」には年間135万人が訪れるなど、潜在的に多様な労働力が眠っている。
そこで、産地における労働力不足に対応するため、地域の農業者、糸島市、福岡県普及指導センターと連携し、無料職業紹介所を開設、運営することで、多様な人材が、多様な働き方で地域農業の担い手として活躍できる労働環境の整備に取り組む。大規模農家のみならず、中・小規模農家や高齢農家の労働力確保支援を実施する。

事業実施主体構成員

総括・実績報告 営農企画課長 田中
会計・面談・マッチング データ管理 営農企画課考査役 寺本 T A C 笠 中田
協力機関 糸島市・福岡普及指導センター

実績値（目標値）

労働力受入担い手農家数：2月現在5件（初年度目標値20件）

令和4年度取組み内容

今年度の取組み内容	
ア 労働力の需給状況の把握（地域の状況及び労働力提供可能な者の把握等）	
・ R 4 . 1 0 月より求人募集開始（初年度対象品目：いちご、柑橘、花卉）各品目技術指導員より、事業説明 実績2月現在：いちご5件、柑橘2件、花卉3件	
R 5 . 4 より対象品目増加し、5年後目標の100件契約を目指す	
イ 労働力の確保・育成（情報発信等）	
・ R 4 . 1 0 月より、広報誌・HP・チラシ配布実施 求職者に、どの媒体でこの事業を知ったかの聞き取りで、糸島市の広報誌が大半を占めていた。また、広報誌での申請者は、高齢の方や勤務日数が少ない方が多く、マッチングまで至らない方が多かった。	
・ R 5 . 1 有料情報誌を活用	
・ R 5 . 2 月時点実績：求人数10件、応募数30件、成立数5件	
・ 農作業研修会を開催計画していたが、参加者確保や時期の設定等困難で、普及指導センター等協力の基、動画作成に変更した。	

今年度の取組み内容

ウ 労働力等のマッチング及びデータベース化

・令和4年8月19日に無料職業紹介所受理 10月より開設
(R4実績(2月時点):求人数10件、応募数30件、成立数5件)
今後データベース化(特に作業履歴)強化し、マッチングの敏速化や向上につなげたい

エ 農業の「働き方改革」への取組み(課題調査及びセミナー開催等)

・令和5年2月17日に青年部役員主体と希望者対象に開催した
内容は、一般的な労務と「1日農業バイト daywork) 15名参加

オ 他産地・他産業との連携による労働力確保

・農福連携 実績2月現在0
糸島市自立支援協議会(構成委員 糸島市・各障害者支援施設・JA)参加し、推進協議中

本事業取組みにおける成果項目

・事業取組初年度であり、満足度調査まだ未実施であるが、現地調査時の聞き取りでは、求人者・求職者共に助かったとの声あり

次年度以降の取組み内容

- ・求人関係
初年度3品目に限定していたが、R5.4より品目拡大し農業者の支援強化したい
アプリ関係のバイト募集を強化につとめる
- ・求職者
ネット観覧が多いことから、ネット提示知識向上に努める
応募者対応として、JA関係施設への誘導を図る
- ・データベース化
実績を確実にデータかし、敏速かつ高確率なマッチングに活かす
- ・他産業との連携
糸島市の自立支援協議会を通じて、障害者施設との情報を密にしてマッチングの幅を広げる